

2009年 3月 3日

介護用ベッドの次期主力製品「楽匠Sシリーズ」を発売 安全・安心装備をさらに充実

パラマウントベッド株式会社（東京都江東区、代表取締役社長：木村憲司）は、在宅向け電動介護用ベッドの新製品「楽匠Sシリーズ」を開発しました。次期主力製品と位置づけ、2009年4月上旬に全国で発売します。

「楽匠Sシリーズ」は、33万台以上の販売実績を持つ介護用ベッド「楽匠」（2003年11月発売開始）の後継機種です。

フレーム構造を一新し、ベッドの最低時の床高20cmを実現。当社従来品に比べ5cm低くしました。万一の転落時の衝撃を緩和します。一方、最高時は7cm高い65cmとしました。身長の高い介護者でも作業しやすい姿勢がとれ、腰痛予防につながります。

また、ベッド柵とベッド柵のすきまを小さくし、頸部の挟み込み等のリスクを軽減。さらに、ヘッドボードとフットボードの両端には、歩行時等につかまりやすい形状のグリップを設けています。

その他、誤操作防止の目的で手元スイッチに電源オン／オフ機能を搭載するなど、安全や安心についての機能をさらに充実させました。

初年度の売上目標は48,000台。オープン価格。



本件に関するお問い合わせ先

パラマウントベッド(株)広報室 相子龍則

TEL 03-3648-1111 FAX 03-5635-2125

楽匠Sシリーズの特長

1. 超低床、床高 20 cm

- ・ 最低時の床高を従来品より 5 cm 低い 20 cm としました。8 cm のマットレスを使用した場合の床高 28 cm は、日本人の高齢者の約 99% がかかとをゆかにつけて座ることができる高さで、端座位（ベッドの端に座ること）の姿勢が安定します。
- ・ また、万一の転落時の衝撃を従来品より約 12% 低減します。

2. ベッド柵とベッド柵、ベッド柵とヘッド・フットボードのすき間を縮小

- ・ すき間に頸部などが挟まれるリスクを低減します。

3. 手元スイッチにオン/オフ切り替えボタンを装備

- ・ 不用意な誤操作を防止します。

4. ヘッド・フットボードに歩行グリップを装備（樹脂ボードタイプのみ）

- ・ ベッド周辺を伝い歩きする時に安心です。

5. 最高床高 65 cm

- ・ 最高時の床高を従来品より 7 cm 高くしました。身長が高い介助者でも腰を曲げることなく作業しやすい姿勢が取れ、腰痛予防につながります。

6. 新構造のフレーム

- ・ 強度をアップして利用時のたわみ、がたつきを防止します。

7. 省スペース設計

- ・ 垂直ハイローや格納式オプション受けを採用したことにより、狭いスペース（従来品より最大 10% 減）で使用できます。

8. ヘッドボードに小物の収納ケース、フットボードにマガジンラック付（樹脂ボードタイプのみ）

- ・ めがねやリモコンなど、取扱説明書や介助者同士の連絡ノートなどの保管に便利です。

9. 「らくらくモーション」（一部機種）

- ・ ボタン 1 つの操作で背と膝が連動して上下することで、利用者の身体がずり落ちにくい仕組み「らくらくモーション」を搭載。利用者、介助者の負担を軽減します。

10. 72 種類のバリエーション

- ・ モーターの種類（4 タイプ）、幅（2 タイプ）と長さ（3 タイプ）、デザイン（3 タイプ）から選ぶことができます。

11. レンタル事業者（福祉用具貸与事業者）の業務等の効率化

- ・ 組立部品を 18 個（従来品 28 個）に削減。組立時間を短縮します。
- ・ 汚れや傷などに対してメンテナンスしやすい構造です。